

瑞浪市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

【保健福祉系施設】

⑪高齢者福祉施設

(老人憩いの家・在宅老人デイサービスセンター
・旧稲津宅老所・シルバーステーション)

(第1期第5版)

令和6年3月

瑞浪市民生部高齢福祉課

目 次

1. 計画の策定について	1
（1）計画策定の趣旨	1
（2）計画の位置づけ	1
（3）対象施設	1
（4）計画期間	2
2. 現状と課題について	2
（1）個別施設の状態等	2
（2）人口減少と高齢化率の上昇	5
（3）高齢者サービスのニーズの多様化への対応	7
3. 計画策定方針について	8
（1）基本方針	8
（2）対策の優先順位の考え方	8
4. 具体的な取組内容について	8
（1）対策内容と実施時期	8
（2）対策費用と今後の方向性・スケジュール	9

改訂履歴

初版	平成30年2月
第2版	令和3年3月
第3版	令和4年3月
第4版	令和5年5月
第5版	令和6年3月

1. 計画の策定について

(1) 計画策定の趣旨

瑞浪市では、土岐・稲津・日吉の3ヶ所に老人憩いの家、土岐・日吉の2ヶ所に在宅老人デイサービスセンターを設置し、高齢者の通いの場を提供しています。また、旧稲津宅老所では、住民主体の高齢者デイサービスである通所型サービスBが実施されています。

加えて、高齢者の知識・経験・技能を生かした就労機会拡大を図り、高齢者の社会参加を促進するため臨時的・短期的な仕事を提供するシルバー人材センターには、シルバーステーションが設置されており、センター会員の活動拠点として活用されています。

市では、老人憩いの家等を通じて、高齢者が生きがいをもっていつまでも元気に過ごすことができるよう、地域社会福祉活動などに気軽に参加できる機会や活動の場の創出を図ってきました。また、転倒・骨折予防や認知症予防等の介護予防教室の開催や、心身の機能維持・増進を図るための自主グループを支援していくことで、介護予防の取り組みを行ってきました。今後、高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加し、利用者のニーズも多様化していきます。

高齢者福祉施設は、高齢者が主体的、自主的な暮らしを送るための拠点として重要な役割を担っていることから、様々な課題等に対処していくために個別施設計画を策定し、取り組んでいきます。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別計画として位置づけています。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、平成26(2014)年度に整備した固定資産台帳による瑞浪市の高齢福祉施設で5施設です。

対象とする高齢福祉施設

中分類	小分類	施設数	施設名称
保健福祉系施設	高齢福祉施設	5	老人憩いの家 寿楽荘 老人憩いの家 福寿荘 (複合施設：在宅老人福寿荘デイサービスセンター) 老人憩いの家 桜寿荘 (複合施設：在宅老人桜寿荘デイサービスセンター、 障害者デイサービスセンター「さくら」) 旧稲津宅老所 シルバーステーション

(4) 計画期間

高齢福祉施設の整備計画を進めるにあたっては、当市における高齢者福祉施設全体の適正な配置及び高齢者ニーズを考慮したうえで、整備が必要な施設を明確にし、取り組んでいく必要があります。

本計画の期間は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画という位置づけから、平成29（2017）年度から令和8（2026）年度までの10年間で第1期とし、ローリングします。なお、5年ごとに見直すことを基本としている瑞浪市公共施設等総合管理計画と整合を図っていきます。

2. 現状と課題について

(1) 個別施設の状態等

高齢者の安全及び介護予防・日常生活を支援するために、これまでも必要に応じて施設の改修等を行ってきています。しかしながら、高齢者サービス等については多様化しており総合的なサービス内容を把握するとともに地域性や高齢者のニーズに沿った事業展開をし、施設の整備を行っていくことが必要と考えています。

この計画の中で対象となる主な高齢者施設の状態等は、以下のとおりです。

点検・診断については、職員による目視点検を実施するほか、改修が必要な施設について、基本設計等に包含して実施します。

令和5年度においては、老人憩いの家において、給水管の敷設及び老朽化した電気温水器の交換を、シルバーステーションにて屋根防水改修を行いました。今後も必要な整備を実施します。

施設名	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
老人憩いの家 寿楽荘	S46（1971） 年度	162.00 m ²	木造	100%
老人憩いの家 福寿荘 （複合施設：在宅老人福寿荘デイサービスセンター）	H5（1993） 年度	200.00 m ²	木造	100%
老人憩いの家 桜寿荘 （複合施設：在宅老人桜寿荘デイサービスセンター、障害者デイサービスセンター「さくら」）	H14（2002） 年度	498.00 m ²	鉄骨造	58.8%
旧稲津宅老所	S56（1981） 年度	82.76 m ²	木造	100%
シルバーステーション	H5（1993） 年度	193.00 m ²	鉄骨造	93.5%

※令和元年度（2019年度）固定資産台帳によるデータ、損害保険加入データ

これまで実施した施設更新内容

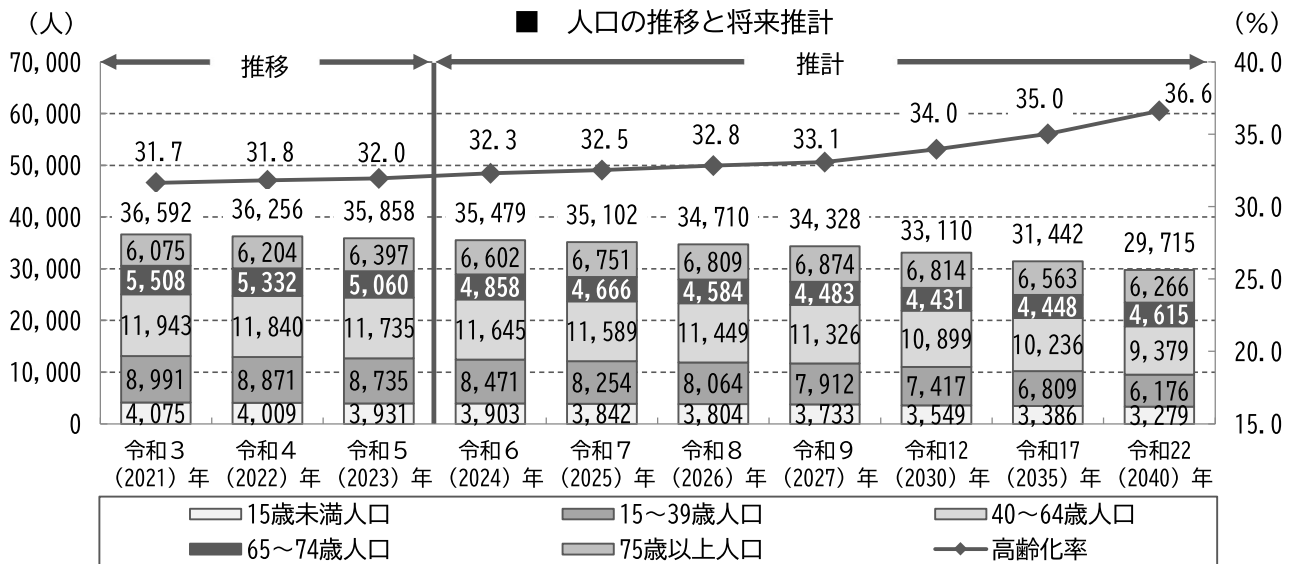
施設名	建築年度	更新年度	内容
老人憩いの家 寿楽荘	S46 (1971) 年度	平成 11 (1999) 年度	【大規模改修】シャワー室・厨房・便所増築
		平成 24 (2012) 年度	【施設】パターゴルフ場修繕
		平成 25 (2013) 年度	【施設】屋根修繕
		平成 26 (2014) 年度	【施設】雨水管修繕
		平成 30 (2018) 年度	【施設】白蟻防除、床補修
		令和 2 (2020) 年度	【施設】パターゴルフ場・軒天井等修繕、漏水修理
		令和 3 (2021) 年度	【設備】エアコン設置、給水加圧ポンプ取替（緊急）
		令和 4 (2022) 年度	【施設】漏水修繕
		令和 5 (2023) 年度	【施設】給水管敷設
老人憩いの家 福寿荘・ 在宅老人福寿 荘デイサービス センター	H5 (1993) 年度	平成 24 (2012) 年度	【施設】廊下たわみ・鉄骨さび補修、ウッドデッキ修繕
		平成 26 (2014) 年度	【施設】畳修繕
		平成 27 (2015) 年度	【施設】ウッドデッキ張替、畳更新
		平成 29 (2017) 年度	【施設】木製サッシ修繕
		平成 30 (2018) 年度	【施設】東側渡り廊下等修繕、白蟻防除
		平成 31 (2019) 年度	【その他】駐車場区画線引き
		令和 2 (2020) 年度	【施設】玄関段差区画線引き、東側渡り廊下、大広間木製扉、浴室サッシ修繕 【設備】エアコン取替（緊急）
		令和 3 (2021) 年度	【施設】ウッドデッキ等修繕、雨漏り修繕、網戸設置
		令和 4 (2022) 年度	【施設】駐車場段差修繕、大広間窓枠修繕
老人憩いの家 桜寿荘・ 在宅老人桜寿 荘デイサービス センター	H14 (2002) 年度	平成 24 (2012) 年度	【施設】パターゴルフ場大規模改修、ガス漏れ修繕（緊急）、玄関たわみ修繕
		平成 28 (2016) 年度	【設備】エアコン修繕（緊急）
		平成 30 (2018) 年度	【設備】空調設備改修
		平成 31 (2019) 年度	【設備】トイレ温水洗浄便座取替
		令和 2 (2020) 年度	【施設】歩車道ブロック・排煙オペレーター修繕 【設備】小型温水器取替

		令和 3 (2021) 年度	【設備】空調設備修繕
		令和 4 (2022) 年度	【設備】照明器具取替
		令和 5 (2023) 年度	【設備】電気温水器交換
旧稲津宅老所	S 56 (1981) 年度	平成 29 (2017) 年度	【その他】敷地擁壁設置工事
シルバー ステーション	H5 (1993) 年度	令和 5 (2023) 年度	【施設】屋根防水改修

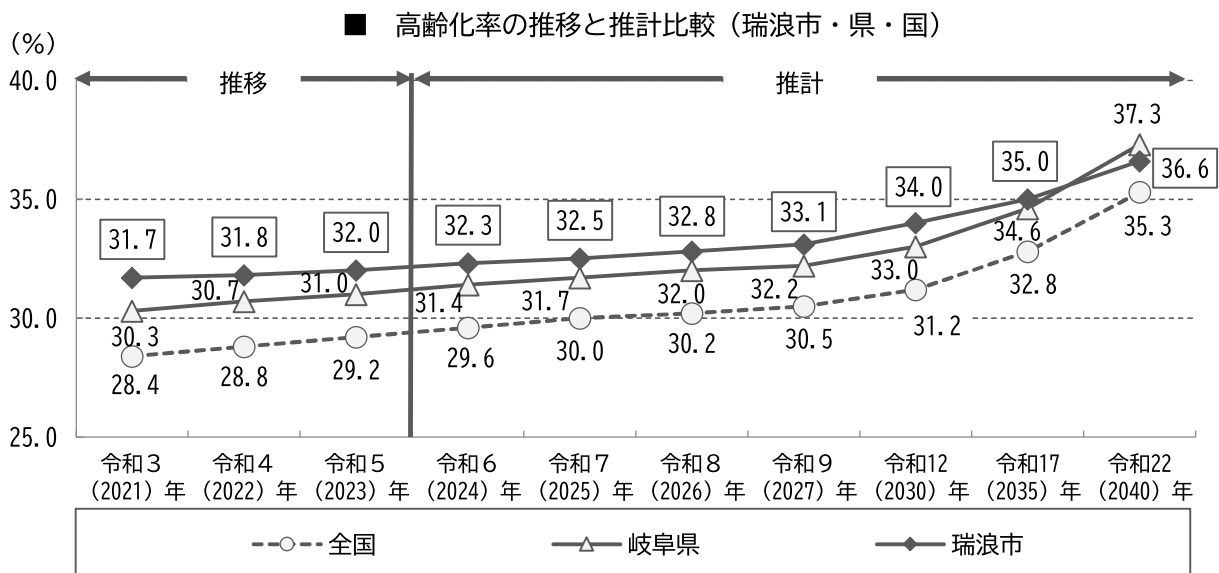
(2) 人口減少と高齢化率の上昇

本市の年齢区分別人口の推移・推計をみると、総人口、65歳未満の人口は減少傾向にあります。高齢者人口をみると、65～74歳人口は減少傾向ですが、75歳以上は増加傾向にあります。令和22（2040）年においては、全体人口の約4割が65歳以上の高齢者となる見込みです。

高齢化率は上昇する見込みとなっており、国や県と比較しても高い傾向にあります。



資料：実績値…瑞浪市「住民基本台帳」各年10月1日現在
推計値…コーホート変化率法により算出



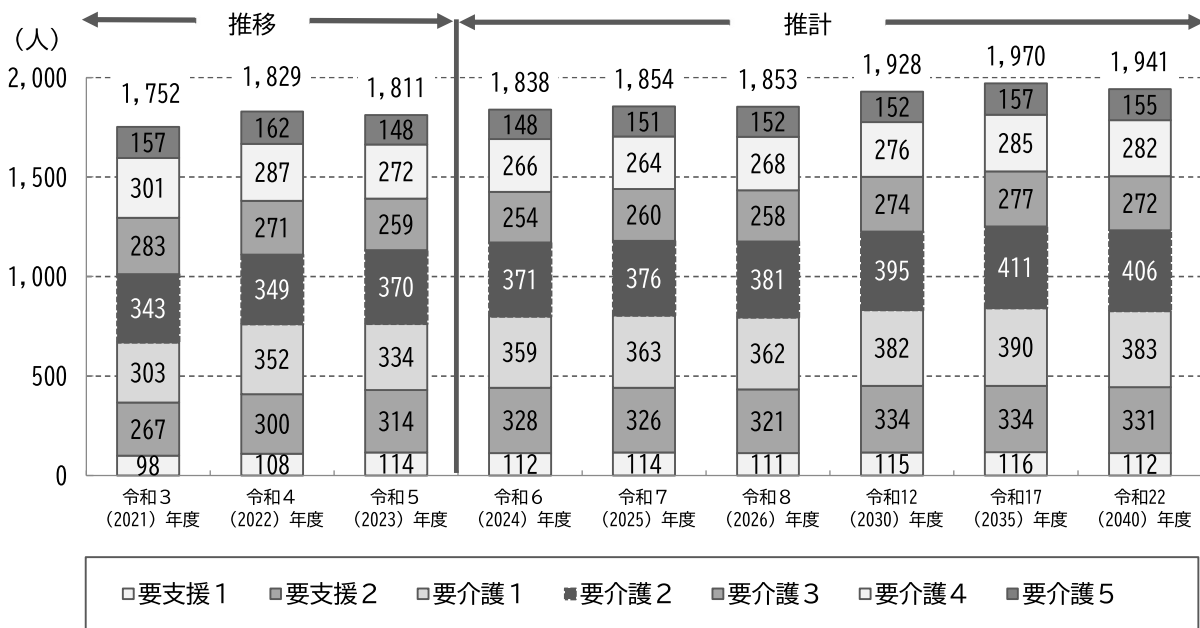
資料：瑞浪市「住民基本台帳」…高齢者人口/総人口*100
全国・県…総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

①要介護等認定者数の推移

要介護（要支援）認定者は増加傾向となっており、特に要支援2が増加すると推計されています。

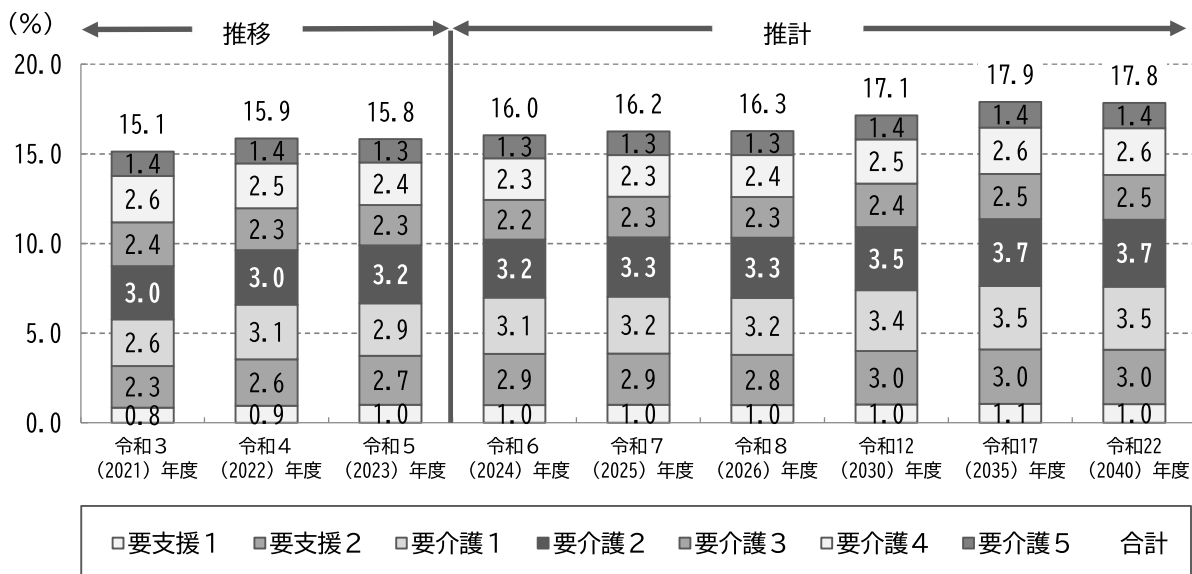
それぞれの割合をみると、令和8（2026）年度まではほぼ横ばいで推移しますが、令和12（2030）年度以降は、増加傾向となる見込みです。

■ 要介護（要支援）認定者数の推移（第1号被保険者）



資料：地域包括ケア「見える化」システム 将来推計 総括表（令和5年11月7日時点）
令和3年度から令和5年度は「介護保険事業状況報告」9月月報

■ 要介護（要支援）認定率（要介護度別）の推移（第1号被保険者）



資料：地域包括ケア「見える化」システム 将来推計 総括表（令和5年11月7日時点）
要介護（要支援）認定者数/第1号被保険者数*100
令和3年度から令和5年度は「介護保険事業状況報告」9月月報

②利用者数の変動

令和元年度までは、老人憩いの家 福寿荘、在宅老人福寿荘デイサービスセンター以外の施設では高齢化の進行により利用者数が横ばい又は増加傾向でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全ての施設で利用者数が激減しました。その後、徐々に利用者数は回復しています。

今後も利用者数が回復できるよう、ニーズに柔軟に対応できる体制づくりをしていく必要があります。

施設名	利用者数(人)							
	平成 17年 度	平成 22年 度	平成 27年 度	平成 30年 度	令和元 年度	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度
在宅老人桜寿荘 デイサービスセンター	1,402	1,438	1,555	1,397	1,401	959	972	1,182
在宅老人福寿荘 デイサービスセンター	1,367	1,380	1,469	1,588	1,267	933	797	706
老人憩いの家 桜寿荘	3,682	4,475	8,093	5,983	4,714	1,656	1,972	2,732
老人憩いの家 寿楽荘	3,903	2,077	3,110	3,191	3,177	1,620	2,023	2,272
老人憩いの家 福寿荘	1,311	1,628	1,865	1,815	1,550	535	797	810
宅老所 いなほ		1,138	1,061	1,002	1,007	132	99	—
合計	11,665	12,136	17,153	14,976	13,116	5,835	6,660	7,702

(3) 高齢者サービスのニーズの多様化への対応

核家族化・介護者の就労形態等の変化により、高齢者サービスのニーズが多様化しています。

高齢化の進行に伴い、高齢者が健康でできる限り住み慣れた地域で自立した生活を続けるためには、老人憩いの家等の「通いの場」を確保し、高齢者の心身の健康増進、教養向上、さらには閉じこもりがちな高齢者が社会参加をする施設が重要な役割を果たします。現在、コロナ禍により高齢者の外出の場や社会参加の場が大幅に縮小しており、老人憩いの家等の気軽に参加できる活動の場は増々重要となっています。

老人憩いの家・在宅老人デイサービスの各施設について、利用者に毎年アンケートを実施し、令和4(2022)年度に実施したアンケートでは、どの施設においても非常に満足・満足と回答した利用者の割合が85%を超えていました。今後も引き続き利用者のニーズに沿った運営や、利用者の安全安心に配慮した施設運営に努めていかななくてはなりません。

また、高齢者施設やサービス等を総合的に考え、それぞれの地域にあった施設運営並びにサービス提供について検討する必要があります。

3. 計画策定方針について

(1) 基本方針

老人憩いの家、在宅老人デイサービス等が、高齢者の生きがいつくりや介護予防の拠点の施設となっていることから、今後も施設としての機能を果たせるよう適切な整備を行うとともに、利用者のニーズを把握しながら施設の機能及び質の向上を図っていきます。

(2) 対策の優先順位の考え方

老人憩いの家等の整備を進めるにあたり、利用者の安全の確保やニーズへの対応など各施設における現状と課題について、次の視点から総合的に検討し、緊急性と実現性の高い施設から取り組みを進めていきます。

○利用者の安全の確保

・施設に著しい老朽化が見られる、災害に関するリスクが高い要因があるなど、施設や立地に起因する課題を抱え、利用者の安全を確保する上で、課題のある老人憩いの家等については、その解消を図るため優先的に取り組みます。

○財源の確保

・国及び県等の補助事業など財源が活用できる施設整備については、活用できる期間等を考慮し、優先的に取り組みます。

○費用対効果

・施設整備に伴う費用と、整備により得られる歳出削減額の効果を検証し、より高い費用対効果が見込まれる老人憩いの家については、優先的に取り組みます。

4. 具体的な取組内容について

(1) 対策内容と実施時期

老朽化をはじめ、施設に課題を抱えている老人憩いの家等は改修を行うこととし、耐用年数を超えて改修する場合は、他に次の対策について検討します。

○長寿命化、集約化、複合化・多機能化

・継続して安定した利用者数が見込める施設については、集約化、複合化・多機能化を基本に地域性を考慮した上、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。

・利用者が減少していくと見込める施設については、他の公共施設との複合化又は縮小・廃止について検討します。

(2) 対策費用と今後の方向性・スケジュール

施設名	建築年度	耐用年数	使用目標年数	今後の方向性	実施年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
老人憩いの家 寿楽荘	S46	22		複合化	対策内容		施設修繕等	(保全) 複合化検討							
					対策費用		0.51								
老人憩いの家 福寿荘 (複合施設：在宅老人福寿荘デイサービスセンター)	H5	22		縮小・廃止	対策内容	木製サッシ修繕	施設修繕等	(保全) 縮小・廃止検討							
					対策費用	0.25	0.6								
老人憩いの家 桜寿荘 (複合施設：在宅老人桜寿荘デイサービスセンター、障害者デイサービスセンター「さくら」)	H14	34	40	複合化	対策内容		設備改修								
					対策費用		4								
旧稲津宅老所	S56	22		複合化	対策内容	擁壁設置	(保全) 複合化検討								
					対策費用	1.5									
シルバーステーション	H6	31		複合化	対策内容	(保全) 複合化検討									
					対策費用										

・施設の法定耐用年数を超えて延伸させることを目的とした長寿命化改修を行う場合は、施設の使用目標年数とその必要性を記載すること。

・対策費用の単位は、百万円とすること。(対策費用は概算であり、変更する場合がある)

※桜寿荘は、照明器具及び空調設備の改修済であることから大規模改修の予定は無いが、今後も適宜修繕を行うことで使用目標年数の延伸を図る。